

住之江地区 保護司会報

第69号



人はみな、
生かされて
生きてゆく。
更生保護ネットワーク

コロナ禍が続く中での保護司・保護司会活動

第七十一回社会を 明るくする運動に寄せて

住之江地区保護司会

会長 長田 幹雄



平素は住之江地区保護司会(以下、「保護司会」)活動について、大阪保護観察所、住之江区役所、大阪府住之江警察署、区内小中学校、及び各地域活動協議会、区地域振興会、区協力雇用主会、区更生保護女性会等関係諸団体の皆さまには、活動のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また保護司の皆さまには、対象者の更生支援、犯罪予防活動に日夜尽力努力をされておられることに、敬意と感謝を申し上げます。さて本年も残念なことに、昨春来のコロナ感染症が未だ収束せず、感染防止対策の為、対象者と

の面接を回避、電話による聴き取りに変更。又あらゆる行事・催しの中止延期縮小を余儀なくされました。「保護司会」の総会が書面による表決に変更、第一期第二期定例研修が自習となりました。今年七十一周年を迎えた社会を明るくする運動の住之江区大会を、七月十日に予定をしていましたが、中止せざるを得なくなりました。ただし、恒例の小学5年生6年生、全中学生への標語や作文募集を実施できました。優秀作品の表彰式は各学校に於いて実施し、啓発文具を配付いたしました。又、区内のガソリンスタンド十店舗に啓発ポスターの掲示を要請し協力を頂きました。街頭啓発活動は十月に、区内十ヶ所で行うべく実施できました。更生保護活動は、関係者のためまめ努力により、そのネットワークを広げながら、安全・安心な地

域社会づくりに貢献してきました。昭和二十四年に犯罪予防更生法が施行。平成二十年には更生保護法が施行。平成二十八年には再犯の防止等の推進に関する法律が施行。同法に基づき平成二十九年には再犯防止推進計画が策定されました。

更に、国、地方公共団体、民間が一体となり、犯罪や非行をした人たちを地域で孤立させることなく、再び自然に受け入れることができる社会を作り上げて、「誰一人取り残さない」社会の実現に向けた取り組みや諸施策実施により、明るい社会づくりに期待が益々高まっています。

コロナ禍が続く中、我々、「保護司会」の新たな取り組みは、情報共有のツールとして、ラインアプリを用いること、そしてホームページを立ち上げたことです。社会には様々な課題を抱えている人々が多数存在します。更生保護制度の枠組みから、保護司に求められる役割がますます高まっています。「保護司会」では、再犯防止の重要項目である「就労支援」について、平成二十九年度に設立された住之江区協力雇用主会と連携を図っています。就労支援は、もう一つの再犯防止の要である「住居の確保」にも繋がります。近年、刑法犯の認知件

数が減少傾向にある一方で、再犯者・再非行者の割合が高く、薬物乱用事犯者の割合も高いとされています。「保護司会」は、薬物乱用防止教室に注力し、区内の中学校や小学校で実施をしています。若年層に、薬物の恐ろしさを大いに啓蒙することが肝要です。

「保護司会」の重要年間活動として、保護司・中学校との連携強化研修会があります。今年十一月十八日に区民ホールで、学校長・生徒指導担当教諭、住之江区長、住之江警察署長、市教育委員会中学校教育担当、区更生保護女性会の方々に参加を賜り、情報交換を致しました。

「保護司会」は、充足率確保、保護司人材の安定的確保という喫緊の課題を抱えておりますが、今後も引き続き崇高な意識を持って更生保護制度を担って参りたく存じます。皆さまのご協力をお願い申し上げます。



ご挨拶

住之江区役所

区長 末村 祐子



「住之江地区保護司会報」が発行されますことを心からお慶び申し上げます。

平素は長田会長をはじめ住之江地区保護司会の皆様には、「社会を明るくする運動」や、「学校との連携活動」等の犯罪予防活動に多大なるご尽力を賜り、誠にありがとうございます。常日頃から社会奉仕のこころをもって、犯罪や非行を防止し、犯罪予防、再犯防止の活動に献身的な活動をされているご様子に、心から敬意を表するとともに、深く感謝申しあげます。

また、令和3年7月「第七十一回社会を明るくする運動強調月間」では、地域の皆様や各小中学校、各団体の皆様との連携のもと啓発活動にご尽力をいただきました。誠にありがとうございます。昨年からの区民の皆様の生活に多大な影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症については、住之江区といたしましても感染の拡大防止に全力で取り組んでいるところですので、予定されていた活動の

中止や延期など、皆様には大変なご負担をおかけしていることと存じますが、感染から皆様を守るこれが第一ですので、引き続きご理解を賜りますようお願い申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症に伴う「新しい生活様式」への対応から、人との接触を減らすための取り組みとして、社会の様々な分野においてデジタル化やテレワークなどICTの活用が定着しつつあります。そういった中で、子どもやインターネット利用が増え、悪ふざけや冗談のつもりでとった安易な行動が犯罪や非行につながる事例もありません。また、意図せず加害者となる事例も少なくありません。そういった危険を避けるためにはインターネットを適切に使いこなす能力を身に付け、トラブルを回避しながら正しく利用する必要があります。

こうした中、犯罪や非行の予防を目的とした保護司・中学校との連携強化研修会等の取り組みは、つながりを大切にする地域づくり、安全で安心な社会を実現する上で誠に意義深いものであり、心からの敬意と感謝を申し上げます。

住之江区といたしましても、住之江地区保護司会の皆様をはじめ、区民の皆様と行政が理解や信頼を深め、協力しやすい環境整備を大事に、今以上に「ありがたい」の声があふれるまちをめざして、力を尽くしてまいります。引き続きご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、住之江地区保護司会の今後ますますのご発展と、皆様のご健勝・ご活躍を心より祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

大阪府住之江警察署

署長 西川 匡



住之江地区保護司会の皆様におかれましては、平素より警察行政の各般にわたりまして、深いご理解と多大なご協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

さて、当警察署管内における罪情勢であります。令和2年中の刑法犯認知件数は1117件で、令和元年(平成31年)中と比べ291件減少するとともに、本年につきましても、6月末現在で前年同期と比べ減少傾向(48件減)あります。

しかし、依然として、警察官や自治体職員(身分を騙る巧妙な手段)で高齢者から金品をだまし取る殊詐欺の他、自動車盗をはじめ、車内の積載品を窃取する車上狙い、ナンバープレート等の車両付属品を窃取する部品狙いといっ

た、いわゆる自動車関連犯罪、子どもや女性を狙った犯罪、覚醒剤、大麻等の薬物が関連する犯罪は発生しており、犯罪の低年齢化も認められるところです。

当署におきましては、このような卑劣かつ悪質な犯罪を地域から一掃し、「安全安心なまち・住之江」を実現させるべく、署員一丸となり、犯罪防止や検挙活動にまい進しているところですが、犯罪発生の一因に再犯者の存在が挙げられることから、犯罪や非行を繰り返させない適切な社会復帰や改善更生を目的とした更生保護活動の重要性を改めて認識しているところでもあります。

つきましては、平成28年12月施行の再犯防止推進法に基づき大阪府や大阪市が策定しました「再犯防止推進計画」により、再犯による犯罪被害の帽子に向けた取組が官民一体で推進されている現状に鑑みましても、実効性が高い犯罪防止活動を展開していきたいと考えておりますので、引き続き、保護司会の皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。

結びとなりますが、住之江地区保護司会の益々のご発展と、会員の皆様方のご多幸・ご健勝を心よりお祈り申し上げます。



コロナ禍の中で感じたこと

大阪保護観察所

所長 鈴木庄市



住之江地区保護司会の皆様には、日頃から更生保護に対して格別なる御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和3年を顧みますと、昨年から引続き、新型コロナウイルス感染症対策に翻弄された一年であったように思います。特に、当庁管内では本年8月2日から4回目の緊急事態宣言が発令され、いわゆる「感染拡大の第五波」の到来により、極めて深刻な事態に直面したことは記憶に新しいところです。

最近のテレビニュースでは、ほぼ毎日、全国各地の新規感染者数



が報道されていますが、これまで各地を転々としてきた流浪の身としては、感染者数が多い大阪の地域性について改めて思うところがあります。

感染症のまん延は医療の逼迫や地域経済の低迷等、様々な災禍を招いてきましたが、一方、新規感染者数の地域差は人口や地域経済の規模に比例するものであり、些か逆説的な視点ですが、一般の大阪府内における感染症の爆発的なまん延は、改めて、この地域には多くの人が生活し、様々な経済活動が行なわれ、日々、人の流れが確かに存在することの証左であると思うのです。

筆者はこれまで全国各地の更生保護官署で勤務してきましたが、各地には過疎化が顕著に進んだ街が少なくなく、県庁所在地の街でも日中の人の流れが異様に少ない様子を幾度も目にしてきました。その意味で、一般の大阪府内における感染症の爆発的なまん延は、改めて、大阪の地は、元来、全国各地から人々を誘い、その人々を魅了してやまない活気あふれる街であることが浮き彫りにされたように思えてなりません。

最近では、若い世代にもワクチン接種が進み、暗いトンネルの先に微かな光明が見え始めています。汲めども尽きぬ魅力あふれる大阪の街が再び活気を取り戻し、将来にわたり安全・安心に暮らせる街であり続けるため、これからも愚直に更生保護活動に取り組んで参りますので、倍旧の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

二度目のご挨拶

大阪保護観察所
住之江地区担当観察官

田中健一



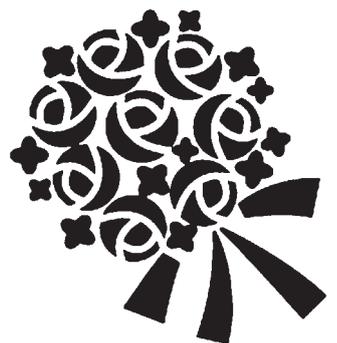
住之江地区保護司会の皆様方には、日頃の更生保護行政への多大なるご尽力とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

住之江地区保護司会報第69号の発刊についても誠にありがとうございます。

令和2年度から引き続き、処遇第2グループで住之江地区を担当させていただいておりますこと、大変嬉しい気持ちで仕事をさせていただきます。

保護司会の各行事は令和2年度から同様、大人数での集合行事は概ね中止となり、開催会場の収容人数などの目安も示されていたことから、一つの活動を行うだけでも普段以上の心労があったことでしょうか、各保護司の御苦勞に対して改めて御礼申し上げます。

私が本原稿を渡す頃に日本国内のコロナワクチン接種率が70%を超え、全国的にも新型コロナウイルス



減少傾向に転じていますが、国外に目を向けますと、新たな変異株による感染拡大が進む国も出てきているようですので、まだまだ、これからも感染予防に努めて一人一人が気を緩めることなく日々の生活を送ることが求められるなか、感染防止に注意しながら保護司活動の取り組みにおいても協力をお願いいたします。

これからも住之江地区保護司会の益々のご発展と住之江地区保護司会の保護司の皆様のご健勝を祈念しております。



第71回 社会を明るくする運動 街頭啓発活動



社会を明るくする運動

*** 犯罪や非行を防止し、立ち直りを
支える地域のチカラ ***



安立分会



加賀屋分会



加賀屋東分会



新北島分会



住之江分会

南港分会



敷津浦分会





南港桜小学校



粉浜小学校



粉浜分会



平林分会





安立小学校

住之江区小・中学校 社明標語・作文 表彰式



加賀屋小学校



加賀屋中学校



加賀屋東小学校



住之江小学校



南港みなみ小学校



平林小学校



南港光小学校

府立大塚高校薬物乱用防止教室 (大塚高校)

コロナ禍が拡大の中、7月1日に薬物乱用防止教室に招かれ、500人の12年生たちと交流しました。

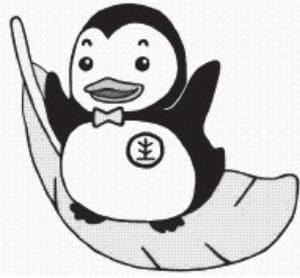
①DVD「ダメ絶対」ビデオで薬物の怖さを学ぶ

②「ダメ絶対」冊子で振り返る

③キャッチボールをして、人には相手への思いやりがあることを知る

④ロールプレー 3種(喫煙・先輩から元気になる薬・街中でダイエットにいい薬、の誘いを断る)を自ら体験する内容でした。

スポーツを得意とする生徒の多い高校なので、先輩後輩の関係から良くない誘いがあり得る。ぜったいに乗らないことを強調しました。(若山・長田・河合保護司)



薬物乱用防止教室ポスター



薬物乱用防止教室

健全育成をめざして (清江小学校)

清江小学校校長

向井善一



住之江地区保護司会の皆様方におかれましては、誰もが安心して暮らせる社会の実現、子どもたちの健全育成・非行防止にお力添えをいただき、誠にありがとうございます。また、学校教育に対する平素よりの様々なご尽力に対し、重ねて厚く御礼申し上げます。

私は、清江小学校に赴任させていただいて3年と半年が経とうとしています。ですが、本当に地域・家庭・学校が、「三位一体」となっていて子どもたちを育てている地域だと思っています。地域のいろいろな団体の皆様、子どもたちのためにたくさんの方の活動を企画され、多くの子どもたちがその活動に参加し楽しいひと時を過ごしています。今年、コロナ禍ではありませんが、感染対策を講じながら、少しでも子どもたちに楽しい活動をさ

せてあげたいという願いをもって取り組んでおられます。学校の教職員もできる限りではありませんが、一緒に参加させてもらっています。そのような活動の中で、しだいに、子どもたちと地域の皆様・教職員との「つながり」ができて、さらに深まっているようです。そのような「つながり」が、地域や学校で安心してのびのびと暮らすことができる大きな要因だと感じています。子どもたちは、まわりの大人たちが、「自分のことをわかってもらっている」と感じることができると、心を開いて明るく生活することができているのだからと思っています。

今後も、様々な地域の皆様方のご理解・ご支援のもと、子どもたちの健全育成をめざし、さらに取り組んでいきたいと考えていますので、住之江地区保護司会をはじめとする地域の皆様方のさらなる指導・ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



連携強化研修会

令和3年11月18日 午後4時30分～午後5時30分 すみのえ舞昆ホールにて開催、来賓に住之江区長をはじめ関係各位の皆様方にご出席を頂き、各中学校からの自校の生徒を取り巻く状況等の報告があり、共通の課題として、S・N・Sの問題が検討事項であった。



長田会長



住之江警察署長



住之江区長



住吉第一中学校



新北島中学校



住之江中学校



加賀屋中学校



舞昆ホール



南港南中学校



真住中学校



11月7日(日) 住吉大社駅周辺犯罪防止啓発活動



犯罪防止活動

11月14日(日) スミノエアートビート啓発活動



分会だより

安立分会

古川 勉



研修を受けて初めての面接、経験もなく不安いっぱいに対象者を待った日から早いもので十二年になりました。

このことは保護観察官や先輩保護司さんのご指導のお陰と感謝申し上げます。

そんな保護司生活で対象者の環境の悪さを痛感した事もありました。

就職出来ず不採用になった対象者やアルバイトから正社員に昇級出来なかつた気の毒な対象者もいました。一方で迷惑をかけた家族に家を建てるのに営業で頑張る対象者やプロの格闘家で活躍している青年もいて楽しい事もありました。

大変なこともありましたが色々な経験もさせて頂きました。これからは対象者の良き相談相手として残り少ない保護司生活を頑張つてまいりたいと思います。

住之江地区、安立分会の皆様宜しくお願い致します。

16年間ありがとうございました

ごさいます

南港分会

名誉保護司 黒田正信

地域役員さんから推薦され、保護司を拝命。

令和2年3月に定年を迎えました。16年間の思い出は尽きませんが、対象者には話を聞いてあげ、声をかけてあげる等、寄り添うことが大切な事だと思いつけています。ありがとうございます。

保護司退任の一言

加賀屋分会

名誉保護司 森嶋 寛

思えば大学生のころ、青少年育成と補導する警察官を志望しながらキリスト教会の牧師になりました。

犯罪に手を染めた青少年だけでなく、牢獄に入っている者にも手を差し伸べることが出来る保護司の委嘱を受けました。

その長年にわたる働きが認められ、令和2年度法務大臣表彰、感謝状を賜り望外の喜びです。

令和3年1月24日退任

住之江区に協力雇用主

募集中です!!

住之江地区協力雇用主会

会長 平川 司



コロナ禍

コロナ禍はようやく下火を迎えようとしている。その傷跡は誠に残酷なものを残した。

いまだに入院している親族、仲間、友人にも面会させてくれない。誰もが感じていることだと思いが、亡くなった友にすら別れができないありさまである。

国は飲食店などにかろうじて手当を出しているが、微々たるものである。ましてそこに働いている雇用者には救済の手が差し伸べられていないのが現状である。

コロナ禍で、大阪府協力雇用主会連合会の行事は全て中止となり、住之江地区協力雇用主会も休眠状態に陥っている。

住宅セーフティネット

国土交通省の空き家対策（住宅セーフティネット）も前進の兆し

が見えて来ない。補助金申請の条件が厳し過ぎるからである。大阪には多くの空き家が存在するが、その多くはバブル経済の頃に、敷地いっぱい建てられた建物で、条件には到底当てはまらないのである。

南港の西南大和川河口に橋を架けよう

南港ポータータウンは当初十万人のベッドタウンを計画されていたが、バブル崩壊後は一万戸に縮小され、現在では物流センター、コナテナ埠頭、フェリー埠頭、トラックターミナル等物流の拠点となっている。

ベッドタウンの生活道路から物流道路へと利用目的が変わってきたにも関わらず、道路の補強・拡張等整備がされず、大型トラックが走り、振動・騒音・人身事故等の問題を起こしている。

新たにわ筋と南港通・住之江通・大和川通交差点及び阪堺大橋は渋滞が常態化しています。迂回道路を南港の西南大和川河口に、南方面へ橋を架け、解消を図ることを願います。



南港から堺へ橋の要望



新任保護司の一年目

新任保護司 大山京子

昨年度より保護司として命を受けました大山です。

保護司をとお話をいただいた時は私に務まるのか、どういう風に携わっていけばよいのか不安な気持ちしかありませんでした。いろいろ研修等を受けてから実務ができればと思っていた矢先に観察所から連絡があり、短期保護観察の方を受け持つ事になり、きちんと出来るのか自信がありませんでしたが、地域の保護司の方々にいろいろなアドバイスをいただき背中を押してもらい、無事に観察終了する事が出来ました。

まだまだ未熟ですが、1人でも多くの方を更生し、新しい一歩を踏み出せるように尽力していきたいと思えます。

よろしく願いいたします。

10月28日

大阪更生保護大会表彰式典



コロナ、コロナで保護司会の活動、地域と連携しての行事活動も制限された一年間でした。街頭啓発活動や研修会について形を変えて行うことが出来たのは良かったと思っています。保護司会でも、各分会と交流の場を持たなかったのは残念な事ですが、来年こそはコロナ感染状況も収まり保護司会としての活動を地域に発信出来るようになる事を願っております。

来年度、保護司会報第七〇号は記念誌として発行する予定しています。

最後に、保護司会報発行にあたり、関係各位皆様方から賜りましたご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

広報部 森本誠治

編集後記

藍綬褒章

南 昌勝

令和3年度

大阪更生保護大会 住之江地区表彰者

法務大臣表彰 平賀博希

上野和子

近畿地方保護司連盟会長表彰

森本誠治

近畿地方保護司連盟会長感謝状(家族)

高見あやみ

南好子

大阪保護観察所長表彰(永年従事)

小藪邦博

七野健一

大阪保護観察所長感謝状

住之江地区協力雇用主会

平川管工住器(株)会長

平川 司

大阪府保護司会連合会会長表彰

大久保尚子

岡 栄輝

川邊敏治

南場 結

棕本世志子

大阪府保護司会連合会会長感謝状(家族)

鷹羽純子

中野英子

住之江地区サポートセンターの 使用について

住之江地区更生保護サポートセンター(以下「サポートセンター」という)は、住之江地区保護司会の活動拠点として機能を果たすため、また会員が活動する場合の利便性を高めるべく設置されました。

従って会員は、サポートセンターを訪問し、会議室等を使用することができます。ただし会員は、一定のルールを順守使用することが求められます。

なお、急用等で、事務員や当番の企画調整保護司が不在になることがあります。事前の在室確認をお願いいたします。

〒559-0017 住之江区中加賀屋2-6-15

ストークマンション住之江202号

TEL/FAX 06-7162-5458 Email: suminoe-sc@air.zaq.jp

住之江区更生保護女性会



更女だより

No.49

援助・協力することの難しさ

住之江区更生保護女性会 会長 川瀬 恵子

平素より住之江区更生保護女性会活動にご理解とご協力いただきましてありがとうございます。

年度初めの総会も昨年に続き皆様にお会いできずに書面での表決をお願いさせていただきました。無事承認となりましたが、さすがに二年目はこの状況を理解しているつもりでしたが、何とも心寂しく思ったものでした。

コロナ禍により日常生活も一変し、リモート、オンラインによるトラブル、高齢者を狙った詐欺、ストレスによる虐待が増加、休業による経済不安など、問題が続出しました。

そのような中、地区更女活動の一つとして、登下校の「みまもり」「子育てサークルや、子育てサロン」の支援活動などは感染者数に影響されながらも行政の指示に従い、できる範囲で子どもたちから元気をいただきお手伝いさせていただきますました。

今年度担当となっており、「和泉学園誕生会」も日に日に感染者数が増加しており、実施すべきか中止すべきかを理事会で協議するなど援助、協力することの難しさを考えさせられました。

今年度担当となっており、「和泉学園誕生会」も日に日に感染者数が増加しており、実施すべきか中止すべきかを理事会で協議するなど援助、協力することの難しさを考えさせられました。

今年度担当となっており、「和泉学園誕生会」も日に日に感染者数が増加しており、実施すべきか中止すべきかを理事会で協議するなど援助、協力することの難しさを考えさせられました。

今年度担当となっており、「和泉学園誕生会」も日に日に感染者数が増加しており、実施すべきか中止すべきかを理事会で協議するなど援助、協力することの難しさを考えさせられました。

今年度担当となっており、「和泉学園誕生会」も日に日に感染者数が増加しており、実施すべきか中止すべきかを理事会で協議するなど援助、協力することの難しさを考えさせられました。

関係各位の皆様のご支援よろしくお願ひ申し上げます。

七夕飾り

清江地区

伊藤 聡子

毎年、七夕が近くなりますと清江小学校の2年生と一緒に七夕の飾りを作り笹竹に飾っていたのですが、コロナ感染予防対策のため今年も事前に飾りを作り、学校にお渡しすることとしました。

6月23日に更生保護女性会の有志が集まり、折り紙で飾りを作りました。最初は、「1年前のことだから作り方を忘れてしまったわ。」という声もありました。けれども、作り始めると段々と思いついてきて、皆さんの手が流れるように動き、あれよあれよと飾りが机いっぱい出来上がりしました。織姫様や彦星様の可愛らしい飾りや、吹き流し、貝飾り、網飾り、星飾りなど種類も豊富です。

こうしてできた色とりどりの飾りは、7月5日に2年生がそれぞれの願ひ事を書いた短冊と一緒に笹竹に付けました。普段の生活でなかなか紐を結ぶことのない児童は、「紐を笹に結わえる」作業に苦戦していましたが、先生方の指



導のもと、飾り付けられた笹竹はとても華やかになりました。立てられた笹竹を見た児童たちからは歓声があがりました。来年は、児童と一緒に楽しく七夕飾りを作る日が来る事を密かに笹竹にお願いしました。

「コロナウイルス禍の中で

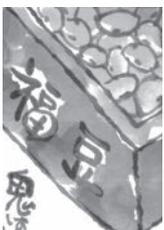
安立地区

杉本 俊枝

コロナウイルスの感染拡大が続く今日今頃、「この一年半長いね」、「皆に逢いたいね」との声。ミニ集会、各行事……、何もかもすべてストップ。安立の行事、バザー大変ですが、地域の方から今年も「無理よね」と声をかけていただきます。

住吉大社神輿渡御も中止、連合の行事の協力も出来なく、皆に逢う機会もなく「皆とお話したいね」。会員の方々も段々と年齢を重ね、どないになるだろうと思うと、不安いっぱいです。

緊急事態宣言が解除されて、一日も早い平和で穏やかな日常が帰って来ることを願っています。解除されても、基本的な感染予防を徹底した生活を続けたいとね。いつになるやら、早くコロナ、終息を願っています。



住之江地区 更生保護女性会

長田 淳子

住之江地区は、地域が浜口交差点から西へ位置し、区役所、区社協、住之江小学校、消防署、護国神社、住之江公園があります。

現在六人で活動をしています。

一年間のスケジュールは

○毎週月曜日の朝、小学生通学の見守り

○毎月第三土曜日十時から十二時御崎福祉会館で、子育て支援「ママコム」の開

催（乳児・幼児の子育て相談・子ども遊び）

○社会を明るくする運動街頭啓発に参加

○真住中学校二年生への、薬物乱用防止教室に参加（今年はコロナ禍の為、未定）

○和泉学園へ慰問（お誕生日会での交流）

○宝珠園へ食事サービス（手づくりの温かい夕食）

子育ても終わり、地域での関わりに目を向け、少しでも子どもたちが安全で安心して暮らせる地域になればと活動しています。

今年にはコロナ禍の為、通学見守りと社明街頭啓発参加だけとなりました。

一方今年、コロナ禍にあつても、夏のオリ・パラ大会が開催さ

れテレビにくぎ付けでした。中でも真住中学校卒業生の清水希容選手（空手女子形）が銀メダルを獲得、パラでは住之江中学校卒業生の高松佑圭選手が陸上リレーで銅メダルを獲得。これら偉業は、地域の誇り、住之江の誇りです。私たち更女は、これからも未来のある若者を少しでも応援していきたいと思っています。

住吉さんの高燈籠

粉浜地区

江川 千鶴子

私は堺の漁業関係の家で育ち子どもの頃から灯台が好きでした。

堺の港に明治時代に建設された日本最古の木造式灯台があり（現在は文化財として保存されています）その頃はきれいな砂浜でよく遊びに行っていました。主人の実家が高燈籠のすぐ側で子どもの頃石段に上って遊んだと話していました。元は木造の高楼で現在地から西へ二百メートルの場所にありました。

昭和二十五年のジェーン台風により上部木造部が傾斜したため基礎の石積のみを残したそうです。旧高燈籠が無くなる頃、主人とアマチュア無線で遠方の人と交信していました。その時の交信証



現在の高燈籠

の写真は住吉大社から頂戴した葉書で「夜走の船のめあてとす。闇夜み方向を失う時、この燈籠の灯こうこうと光りあざやかなり。とある通り江戸時代の中頃に建設された日本最古の燈台といわれています。」と示されていました。現在の高燈籠は鉄筋コンクリート造りですが私の六階の部屋からは昔の葉書と同じ姿で夕刻には灯明が付き毎日癒されています。

笑顔

加賀屋地区

安川 昌子

このコロナ禍の時期、マスクの下で笑顔を忘れてしまいがち。笑顔に焦点を当て笑顔ファーストを書き出してみました。

・笑顔は周りの人を幸せにする

・笑顔で一刻を過ごせば、ひとときの幸せ

・笑顔での挨拶は自他の心を豊かにする

・笑顔は誰でも出来る最良のメイク

・笑顔は心の外套を取り除く「北風と太陽」の太陽です

・笑顔はことば不用のコミュニケーション

・笑顔は時に言葉以上の情報を伝える

・笑顔から生まれるそうです「幸せホルモン」

・笑顔になれば「脂肪」も燃える

・笑顔は世界共通の思いやり言語

通学路の見守り

住之江地区

出口 妙子

新型コロナウイルスのため、更生保護女性会も前期の活動が中止になりました。現在は「おはよう」の声かけだけが続いています。

子ども達全員がマスクを付けての登校をしております。「おはようございます」と元気いっぱいの男の子達、恥ずかしがりやでマスク美人の女の子達も「おはようございます」子ども達の目が笑っていたのでこちらもほっこりの気分です。笑顔が浮かび自然と大きな声になりました。

道で会っても「こんにちは」といつも子ども達に元気をもらっています。

まだまだ元の生活に戻れるまで時間がかかりそうですが、早くマスクが不要になって活動が再開出来る事を切に望んでいます。

良い一日の始まり

加賀屋地区

高橋 多美子

長男が中学2年の秋に入会を勧められ、早いもので長男も47歳となり「光陰矢の如し」何も解らず皆さんの足手まといにならない様にと微力ながらの後方活動でした。更女活動とは何ぞや、疑問も多く感じました。

活動的には入会時と変革行事もなく、中学生の非行防止、この頃はシンナー・喫煙をしている生徒も多く、加賀屋・加賀屋東地区と合同で下校時にシンナー吸入後の空き缶・タバコの吸い殻等、学校廻りの清掃も兼ね、気をつけて帰ってネ！の声をかけ始めました。現況では登校時(8時~8時30分)のおはよう行つてらっしゃい〴〵の声かけに変わっています。男子生徒の服装ずり落ちズボンスタイル、今では風紀もさながら生徒側からの〴〵おはようございますの声かけキャッチボールがとてもしっかりしています。



加賀屋地区に住んで

加賀屋地区

広垣 悦子

加賀屋地区には地下鉄北加賀屋駅があります。周辺の案内をしてみたいと思います。

加賀屋天満宮、名村造船所跡地(経済産業省の文化遺産に認定されています)、大阪府立住之江支援学校、ナニワ企業団地、住之江スポーツセンター、スーパーマーケットは4ヶ所、コンビニ、二トリ、ユニクロ、ちよつと行けばコーナン上新電機と便利な所です。40数年前引越して来た時は、工場が多くて整備されていない所もありましたが、今はマンション等、住居も増え、にぎわっています。住めば都と言いますが、本当に町になじんで暮らしています。

更女としてできること

加賀屋地区

若月 ひろ美

更生保護女性会の活動の内容を、その名称から「更生のお手伝い」と勝手に考え、果たして自分にどれほどの事が出来るのかと不安ながら入会して以来、随分と年だけが経ったような気がします。仕事を優先しての更女の活動は

参加出来る事が少なく、会の皆さんに申し訳なく思いながら、内容はだんだんと解ってきました。解つてくると自分に出来る事、出来ない事もはっきりしてくるので、悩みながらの活動参加です。

それでも、会の活動のひとつである加賀屋中学校の生徒さんたちへの〴〵おはよう〴〵の声かけは、朝の時間をやりくりしてかけつけ、清々しい気持ちで立つことが出来ます。

何かしら世の中の役に立つその端の端にでも繋がっているのかなと思ひ活動しています。

宝珠園夕食サービスに初めて参加して

加賀屋東地区

鎌田 和子

更生保護女性会の活動内容も、良く分からないまま、理事を引き受け役員会議で、来月は宝珠園の当番月ですと言われ、宝珠園夕食サービスって何の事と会員さんから、宝珠園はね、堺市に有り、更生保護施設で刑務所から出所した人が新たな人生にかけようと誓いながら行き場所のない人達の保護施設で、更女は、月一回夕食サービスを行っている」と説明を受けました。私は寮生さん達のお手伝い出来る事だ、会員になりよかったです。

明日は夕食サービスの日です。

家庭の味で、喜んで食べてもらえる献立をと、会員四人で試行錯誤し、五品ほど決めました。予算内の材料の買い出し等、先輩会員の後押しも有り、準備は整えることが出来ました。

当日は昼から、材料を持って施設に伺い、昔懐かしい台所で十二人分の献立に取りかかりました。水加減は、切り方は、お味は話し合いながら、二時間ほどで出来上がり、人数分に小分けして食堂の食器棚に並べました。

施設長さんから宝珠園の近況をお聞きし、帰路に着きました。

後日、施設長さんから、園生達は感激して頂き礼状と写真を送ってもらいました。やりがいのあるお手伝いが出来て心から感謝しております。

コロナ禍で夕食サービスも、例外なくお休みしておりましたが、こんな御馳走の日も有るよと、喜ばせてあげられるよう、頑張つて提供し届けていきたいと思つております。



おふくろの味をどうぞ

令和3年度表彰者

大阪府知事感謝状

表 彰 岡 知恵子

近畿更生保護女性連盟会長
表 彰 杉本 俊枝

大阪保護観察所所長感謝状
表 彰 長田 淳子

大阪更生保護女性連盟会長
表 彰 坂本 洋子

受賞おめでとうございます

小さな交差点

敷津浦地区

川 瀬 恵 子

朝の「みまもり」はいろんな顔に出会います。

新年度、「おはようございます。初めて驚いた様子で下を向いて渡っていた子も、慣れてくるとチラッと振り返って、小さな声で「行ってきます」と返してくれます。出勤途中の40代男性、こちらの声掛けにいつも「オウ！」と手を振ってのご出勤。

自転車で子どもの通園のお母さんは時間との闘いが顔に現れます。渡られるときは通行の邪魔

にならないように信号機の外側に身を隠します。

そして信号が赤に変われば素早く横断旗を引つ込めることも大事。道路すれすれに猛スピードで走る自転車が何台かあるので子ども達ばかりを見ているとヒヤッとすることもあるからです。

何年も続けていると、あんなに小さかった子がすっかりとしたお兄ちゃん、お姉ちゃんになったなと思えば、中学生になって向こうから挨拶してくれたりして感激することもあります。

また、大和川にウォーキングに行っていた高齢の女性、近頃見かけなくなつた：など気にしていたら1か月後また元気に渡られているのを見て安心したり、いろんな思いを巡らせています。

押しボタンの小さな交差点ですが行き交う人たちとの小さなふれあいがほっこりとした温もりとなつていきます。

八十歳を迎えて

加賀屋地区

中 道 紀 子

何か原稿をと依頼され思索していましたが、八十歳を過ぎて急に失敗談が多くなりましたのでそれでも列記してみようと思ひペンを取りました。一番に感じるのは、物忘れがはげしくなり悲しくなることが度々です。

地域福祉に取り組んで

平林地区

佐 野 悦 子

私の郷里の仲良しのお母さんは百五歳を迎えられた現在もお元気で息子さんのお嫁さんが先立たれたので家事一切を頑張つてやつておられるので目標にしています。

私の場合夫も元気ですが、お互いに耳が遠くなり、聞き違いが多くなり、苛立つてケンカが増えてきました。時々長生きも考えもなかなか？と思う様になりました。贅沢な悩みでしょうか？更女活動も周囲に迷惑がかかるので、息子さんから忠告されていますが、自分の出来る範囲で活動に協力しようと思つております。

更生保護女性会としての動く事はむつかしい状態にありましたが、メンバーは他の事業にも関わつておりますのでそれを少し話してみたいと思います。

平林地域でも高齢化が進み高齢で独居・高齢ご夫婦の方が増えています。誰にも気づかれず発見するのが遅れ亡くなられる方も増えてきています。

お元気だった頃のお姿に近い形でお見送りたい、その気持ちはも関わらず残念な結果でお見送りすることになっているのが現実です。

できれば、誰にも気づかれず亡くなられることを未然に防ぐことが良いのですが扉という壁があります。

ご近所の方に鍵を預かつてもらっている方もおられますが、何とか地域の中でできないのかとさざんか平林協議会からの発案で「鍵預かり事業」が立ち上がりました。

さざんか平林協議会を中心にネットワーク委員会の協力のもと、平林連合各町会各部会・区社会福祉協議会・区役所・警察・消防署の協力で動きはじめました。この事業の先駆者である寝屋川社会福祉協議会への見学、また8月28日には寝屋川から研修に来ていただき町会長・女性部長・各種団体長で勉強会も開催し「一心同帰」(心合わせて同じ目的)の気持ちでも整い地域福祉に取り組んでいます。



あとがき

コロナ禍で行事が無く、記事が集まりにくかったです。来年こそは終息し、色々活動出来ることを願っています。

広報部